

◆ガイドラインを設けていますか？SNSに潜むリスク◆

さて、あなたの会社には「SNS運用のガイドライン」がありますか？

- ◆ ----- ◆
暗黙の了解は危険！
「SNS運用」に潜むリスクとは
- ◆ ----- ◆

近年、企業がマーケティング活動の一環としてSNSのアカウントをつくり、情報発信する流れは定番となっています。しかし、SNSが広まる一方で運用にあたり明確なルールを設けていない企業もあります。

これまで世間では、SNSを発端としたさまざまなトラブルが起きてきました。そのため、「何がダメなのか、今さら言わなくてもわかっているだろう」と社内のルールは決めず、従業員のモラルに任せて運用しているケースも少なくないようです。

もちろん、ルールがなくてもSNSは簡単に始められますが、以下のような問題が発生するかもしれません。

- 無意識に会社の機密情報を公開してしまう
- 投稿に担当者の主観が強く反映されている
- トラブルの際どうすれば良いかわからず対応が遅れる
- 著作権やプライバシー（顧客やスタッフの情報）を侵害してしまう
- 不適切な文章でブランドイメージを落とす など。

企業が一旦SNSでミスをするると瞬時に拡散され、取り消すことはもはや不可能です。会社の存続に影響を与えるような一大事を防ぐためにも、SNS運用のガイドラインは必須なのです。

ちなみに、ガイドラインを制定している企業では、このような内容を取り決めているそうです。

- SNS運用の目的と心構え
- 発信する際の禁止事項
- トラブルが起きた時の対処法

このあたりを明確にしておくだけでも、リスクはかなり軽減できるはずです。もし、SNS運用をしているけれど明確なガイドラインをつくっていない場合はこれを機に考えてみてはいかがでしょうか。

□ ■ □ -----
編集後記
----- □ ■ □

今回は「企業のSNSに潜むリスク」をテーマにお伝えしました。

SNSはブランドイメージの向上や高い宣伝効果などメリットが多い反面、扱いには細心の注意が必要です。当社も改めて運用ルールを考え、周知徹底に努めようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

